



ちよっとためになる お金 の話

こんにちは。FP（ファイナンシャルプランナー）角山です。

今回は、家計簿についてお話ししました。そもそも家計簿をつける目的は何か？と言つと、**将来の夢や目標**を叶えることです。

そのために毎月の支出をチェックし、見直しをして節約出来たらそのお金を貯金することが理想です。

では貯金をしたら、何に使うか？相談で多い項目TOP3は下記の通りです。

1. 子どもの教育資金
2. 住宅購入費用
3. 老後資金

大切なことは、どの項目にどの位かかるかを知ることです。

まずは教育資金です。文部科学省のデータによると、

- 幼稚園～大学まで全て国公立だと 約800万円
- 幼稚園～大学まで私立だと 約2200万円

このことです。

左記は平均的な教育費ですが、下宿費や住居費などは含まれておりません。もしご自宅を離れる時は、左記にプラス200万円は見ておく必要があります。

この中でも、大学が特にかかる費用になります。

国立私立住宅通い 約530万円
 私立理系一人暮らし 約1100万円

最近では、中学校から私立や大学で留学なども考えられている方も多いようです。そうなると進学によってかかる費用や時期も変わってきますので、貯金方法も少し工夫する必要があります。

子どもの教育資金で学資保険をされる方が多いですが、少し注意が必要です。そもそも学資保険の加入目的は何でしょうか。例えば大学の入学金や賃貸を借りる費用などにお金がかかる可能性があるため、積立をします。せっかく積立をしたのに満期がくると元本割れるケースが見受けられます。例えば100万円積み立てたのに、満期金は98万円になっている方もいらっしゃると思います。せっかく貯めたのですからせめて元本（100万円）は超えたいですね。

今回は、お金のかかりそうなイベント「住宅編」をお話しします。また、良かったら、来月も見てくださいね。

HUG HUG特典 無料相談は要予約
角山先生と1対1で相談（相談時間：1時間 無料）
&
家計診断（ライフプラン）作成プレゼント

無料相談をご希望の方は、メールにて受け付けています。
 ①氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご希望の日時を明記し、「info@hughug-town.jp」までお送りください。

角山 大尚

約18年前より独立し、ファイナンシャルプランナーとしてセミナーや個別相談会を全国各地で開催。個別で勉強して身につけた知識をどう実生活に活かしているのかをアドバイスしている。

